2024 年 3 月 28 日

各 位

会 社 名　スルガ銀行株式会社
代表者名　取締役社長　　加藤 広亮
（コード番号 8358 東証プライム）
問合せ先　常務執行役員
総合企画本部長 佐藤 富士夫
（TEL 03-3279-5536）

（開示事項の経過）保有有価証券の売却等に伴う損失の計上に関するお知らせ

当社は、2024 年 2 月 9 日付で公表したとおり、政策投資目的で保有する株式（以下、「政策保有株式」といいます）の一部売却、及び有価証券ポートフォリオの品質向上を目的にマルチアセットファンドを中心に圧縮を進めたことなどによる有価証券関係損益を計上することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 概 要

2024 年 3 月期 有価証券関係損益見込み（個別）　　単位：百万円

	第3四半期実績	通期見込み	増減額
有価証券関係損益※	△2,253	△5,188	△2,934

※国債等債券損益及び株式等損益の合計

有価証券関係損益見込みの内訳

マルチアセットファンド	償還損	55 億円
債券	売却損	2 億円
投資事業組合	償還益	7 億円
〃	償還損	0.1 億円
株式	売却益	21 億円
〃	売却損	0.1 億円

※2024 年 1 月 1 日以降、2024 年 3 月 27 日現在

※投資事業組合の償還損益は、2024 年 2 月 9 日付公表の有価証券関係損益見込みの対象外

2. 理　由

当社では、政策保有株式について、残高削減を基本方針としています。この方針に則り、当該株式の一部売却を進めてまいりました。また、有価証券ポートフォリオの品質向上策についても評価損を抱えるマルチアセットファンドを中心に圧縮を実施することにより、有価証券ポートフォリオの再構築を進めてまいりました。

なお、今後の有価証券運用方針に関しては変更なく、より安定的な収益構造の構築を目指し、市場環境を鑑みつつ、円債を中心としたポートフォリオを漸進的に構築していく方針です。

3. 業績に与える影響

2024 年 3 月期通期業績（連結・個別）に与える影響については、他の要因も含めて精査中であり、開示が必要とされる場合には速やかにお知らせいたします。

以　上